

平成 19 年度補助事業計画について

平成 19 年 3 月 30 日

日本自転車振興会

平成 19 年度における本会の自転車等機械工業振興補助事業計画及び公益振興補助事業計画につきましては、経済産業大臣の認可を得ましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、本補助事業につきましては、「自転車競技法」に基づき、競輪の売上金の一部をもって行われております。

《自転車等機械工業振興補助事業》

基本的な補助方針

従来から経済社会情勢の変化に応じ、毎年度補助方針の内容の見直しを行ってきたところであるが、競輪の売上が減少し、補助財源が厳しさを増す中であって、より一層効果的かつ効率的に事業を実施する必要性が高まってきていること等にかんがみ、平成 19 年度は、以下のような方針を踏まえ、補助対象事業の重点化を図りながら、競輪の活性化にも配慮しつつ、透明性・公平性の一層の向上を図り、最大限の成果が得られるよう努めるものとする。

(1) わが国機械工業については、景気の着実な回復により企業収益の改善が進むとともに、設備投資の拡大、雇用状況の改善等がみられるものの、原油・原材料価格の高騰、国際競争の激化、エネルギー・環境・リサイクル問題の重要性の増大等対応すべき課題が多く残されている。また、出生率の低下によりわが国の人口が減少に転じるとともに、「団塊の世代」が引退の時期に入ることによる、いわゆる「2007年問題」が懸念されている。こうした中でわが国の機械工業が引続き強い国際競争力を維持していくためには、ヒト(人財力)、モノ(生産手段・インフラ)、カネ(金融)、ワザ(技術)、チエ(経営力)の各分野におけるさらなるイノベーションを進めていくことが重要である。

(2) 平成19年度における機械工業振興補助事業は、こうした現状認識に加え、近時、競輪・オートレースを取り巻く環境が厳しい状況にあることから、競輪・オートレースの活性化に資する事業について積極的に採択するとともに、国の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2006(骨太の方針)」、「新経済成長戦略」、さらに総合科学技術会議、知的財産戦略本部、IT戦略本部等の動向を十分に踏まえ、今後とも機械工業が積極的な事業展開を図り、わが国の経済構造改革の推進、経済活力の向上等を実現していくため、下記により行うこととする。なお、事業の実施にあたっては、競輪・オートレースの売上が減少し、補助財源が厳しさを増す中であって、より一層効果的かつ効率的に事業を実施する必要性が高まってきていること等にかんがみ、補助対象事業の重点化を図りながら、競輪・オートレースの活性化にも配慮しつつ、透明性・公平性の一層の向上を図り、最大限の成果が得られるよう努めるものとする。

(3) 補助事業は、競輪の売上金の一部を広く社会に還元することを目的とするものである。かかる観点から、本補助事業では、全国的な視野に立って、競輪の売上金の一部を財源とすることを明示しつつ、国等の事業を質的・量的に補完することを目的として、その支援が及びにくい分野・事業を中心に機動的かつきめ細かい支援を行ってきている。

補助財源が厳しさを増している中、引続き効果的かつ効率的な補助事業の実施に努める必要があることから、平成19年度の補助要望案件については、本補助事業の位置付けを十分に踏まえ、国等の事業との役割分担を明確にしつつ、厳正な審査を行うものとする。具体的には、①国の取組みよりも先駆的な取組みが必要となる調査研究や技術開発、②国による本格的な研究開発の前段階に当たる技術シーズの研究、③国よりも更に機動的かつきめ細やかな地域の中小企業の支援等の補助事業を進めていくものとする。

補助事業計画

上記補助方針に基づき作成された平成 19 年度事業計画の概要は以下のとおりです。

《自転車等機械工業振興補助事業》

1. 補助対象事業別の補助概要(総括)

(単位:千円)

| 補 助 対 象 事 業 | 件数 | 補助金限度額 |
|---------------------------------|-----|------------|
| (1)機械工業における構造改革の推進のための事業環境の整備 | 56 | 8,294,735 |
| (2)地域の機械工業と中小機械工業の事業展開の促進 | 55 | 1,118,212 |
| (3)機械工業における循環型経済社会の構築に向けた取組みの促進 | 12 | 440,828 |
| (4)機械工業における国際交流の推進 | 23 | 1,619,370 |
| 合 計 | 146 | 11,473,145 |

2. 補助対象事業別の概要

(1)機械工業における構造改革の推進のための事業環境の整備

◇ 機械工業において、事業環境を整備し、新規事業の創出、高付加価値化等により構造改革の推進を図ることに資する事業。

- ① 先端的な技術開発を推進する事業
[1,361,202 千円 (財)機械システム振興協会 他 10 件]
- ② コンテンツやデザインを含む知的財産の創出、保護、流通・活用、事業化を推進する事業
[230,618 千円 (社)発明協会 他 6 件]
- ③ 製品、部品等の標準化、安全性の向上及び付加価値の向上を推進する事業
[288,287 千円 (財)日本規格協会 他 3 件]
- ④ IT 社会への対応、事業活動の効率化を推進する事業
[1,874,852 千円 (財)ニューメディア開発協会 他 15 件]
- ⑤ 技術・技能の向上や継承、就業能力の向上等人材育成等を推進する事業
[101,027 千円 (社)組込みシステム技術協会 他 8 件]
- ⑥ その他新規事業の創出、高付加価値化の推進等による構造改革の推進に特に資する事業
[4,438,749 千円 (財)経済産業調査会 他 8 件]

(2)地域の機械工業と中小機械工業の事業展開の促進

◇ 機械工業において、企業がその地域の特性を活かした事業活動等を展開し、また、中小企業が事業基盤の強化、新たな事業展開等を図ることに資する事業。

- ① 地域における産業振興や事業活動推進のための事業
[42,724千円 (財)九州産業技術センター 他4件]
- ② 中小機械工業の創業、新規事業展開、連携、経営革新を推進する事業
[21,118千円 (財)関西文化学術研究都市推進機構 他4件]
- ③ 中小機械工業の地域の特性を活かした事業活動を推進するための公設工業試験研究所等における機械等設備拡充事業
[569,237千円 北海道 他39件]
- ④ その他地域の特性を活かした事業活動等の展開や中小企業の事業基盤の強化、新たな事業展開等に特に資する事業
[485,133千円 (財)日本立地センター 他4件]

(3)機械工業における循環型経済社会の構築に向けた取組みの促進

◇ 機械工業において、循環型経済社会の構築を図る観点から、環境・リサイクル・エネルギー問題等の課題への取組みを推進することに資する事業。

- ① 省エネルギーの推進、新エネルギーの開発その他地球温暖化対策に資する事業
[183,084千円 (財)地球環境産業技術研究機構 他4件]
- ② 生産、流通等の実態に応じたリデュース(減量化)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)への取組みを推進する事業
[16,554千円 (財)クリーン・ジャパン・センター 他1件]
- ③ その他環境・リサイクル・エネルギー問題等の課題への取組みの推進に特に資する事業
[241,190千円 (財)造水促進センター 他4件]

(4)機械工業における国際交流の推進

◇ 機械工業において、国際交流を推進することに資する事業。

- ① 業種別又は国・地域別の国際経済交流を推進する事業
[187,139千円 (財)日中経済協会 他6件]
- ② 貿易・投資の高度化及び円滑化を図る事業
[188,074千円 (財)貿易研修センター 他5件]
- ③ 海外市場の動向に関する情報収集及び対外広報を図る事業
[58,239千円 (財)海外通信・放送コンサルティング協力 他3件]
- ④ その他国際交流の推進に特に資する事業
[1,185,918千円 (社)日本航空宇宙工業会 他5件]

上記補助事業のうち平成 19 年度補助方針の重点項目に該当する主な事業の概要

1. 競輪の活性化に資する事業を含む自転車に関する事業の振興

[10 件 6, 147, 024 千円]

◇ 自転車に関する普及啓発等補助事業

競技用自転車タイヤの生産供給の確保推進・自転車競技の広報等

[2, 120, 644 千円 (財)日本自転車普及協会]

◇ 車両情報システムの研究開発等補助事業

車両競技の新企画に対応した車両情報システムの研究開発

[1, 351, 546 千円 (財)車両情報センター]

◇ 自転車及び自転車関連施設に関する研究開発等補助事業

自転車の利用機会増大・自転車関連技術の向上推進等

[110, 646 千円 (財)日本サイクルスポーツセンター]

2. わが国産業の高付加価値化につながる、新産業分野等における先端的な研究開発及び高度な部品・素材産業やものづくり基盤産業の強化

[18 件 1, 790, 849 千円]

◇ 機械工業における技術開発動向の調査等補助事業

新素材に対応する加工技術の動向調査研究等

[426, 928 千円 (社)日本機械工業連合会]

◇ 光産業の戦略的事業展開のための調査研究等補助事業

先端的な光技術の開発・新事業の展開支援の推進等

[57, 780 千円 (財)光産業技術振興協会]

◇ 機械工業の経営及び関連する経済に関する調査等補助事業

ロボットテクノロジーに関する分析調査研究等

[192, 036 千円 (財)機械振興協会]

3. 「人材立国」を目指した技術・技能の向上や継承、多様な連携による高度産業人材の育成

[8 件 96, 913 千円]

◇ 組込み技術の高度化と環境整備に関する調査研究等補助事業

組込み技術に関する技術者育成、普及啓発、調査研究等

[8, 871 千円 (社)組込みシステム技術協会]

◇ 中高生向けバイオ・ナノテク教育研究補助事業

バイオ・ナノテク分野に関する中高生向け最先端技術者育成支援等

[4, 977 千円 (N)フロンティア・アソシエイツ]

4. コンテンツやデザインを含めた知的財産の戦略的活用、模倣品対策等の推進

[6 件 222, 341 千円]

◇ 青少年の創造性開発及び知的財産に関する啓発普及等補助事業

青少年等の創造性開発育成及び知的財産についての知識と意識の向上を目指した普及啓発等

[29, 806 千円 (社)発明協会]

◇ 産業デザイン広報活動等補助事業

産業デザインの戦略的開発・活用・広報等

[73, 218 千円 (財)日本産業デザイン振興会]

◇ 経済産業情報の普及・広報等補助事業

経済産業情報の提供、知的財産権に関するセミナーの開催等

[18, 863 千円 (財)経済産業調査会]

5. IT 経営の実現による生産性の向上、個人情報保護・情報セキュリティの強化等 IT 社会における安全・安心の確保

[16 件 552, 300 千円]

◇ ニューメディア情報システム開発等補助事業

地域情報システムの開発推進等によるビジネスプロセスの構造改革の促進

[133, 380 千円 (財)ニューメディア開発協会]

◇ ユビキタス環境のネットワーク技術に関する調査等補助事業

ネットワーク社会における情報セキュリティの強化を目的とした調査研究

[1, 321 千円 (財)人工知能研究振興財団]

◇ 流通システムの情報化推進等補助事業

地域小売・卸等協働POS活用モデルの開発

[15, 780 千円 (財)流通システム開発センター]

6. 地域経済の活性化のための中小機械工業の連携強化や創業支援、機械工業関連サービス産業の革新、地域イノベーションシステムの構築

[53 件 731, 393 千円]

◇ 地域における戦略産業イノベーション推進補助事業

九州地域における先端的技術開発、新規事業創出の推進等

[17, 680 千円 (財)九州産業技術センター]

◇ 公設工業試験研究所の設備拡充補助事業

公設工業試験研究所の設備拡充

[569, 237 千円 北海道他 39件]

7. 循環型社会の構築、地球環境の保全、あわせて原油・原材料の安定供給の確保

[14件 452,927千円]

◇ 地球環境の保全に資する革新的技術の普及啓発等補助事業

二酸化炭素分離・回収・貯留技術導入に向けての調査研究等

[12,586千円 (財)地球環境産業技術研究機構]

◇ 循環型社会の形成に関する調査研究等補助事業

廃棄物処理・再資源化促進のための調査・情報提供等

[8,875千円 (財)クリーン・ジャパン・センター]

◇ 水資源の有効活用のための研究開発等補助事業

水処理関連技術及び水の循環再利用等の技術開発

[15,027千円 (財)造水促進センター]

8. 21世紀の成長センターであるアジア諸国との情報通信ネットワークを含む連携強化と積極的なグローバル戦略の推進

[16件 1,255,614千円]

◇ 日中貿易経済交流補助事業

経済技術交流事業及び中国産業実情調査事業等

[83,800千円 (財)日中経済協会]

◇ 貿易・投資円滑化のための国際交流推進等補助事業

アジア諸国との連携を強化し、アジア地域との貿易・投資交流を促進

[29,976千円 (財)貿易研修センター]

◇ 開発途上国の通信情報基盤設備に関する調査研究等補助事業

アジア諸国を含む開発途上国の通信情報基盤整備に関する調査研究等

[2,459千円 (財)海外通信・放送コンサルティング協力]

基本的な補助方針

《公益事業振興補助事業》

従来から経済社会情勢の変化に応じ、毎年度補助方針の内容の見直しを行ってきたところであるが、限られた財源を有効活用し、より一層効果的かつ効率的に事業を実施するため、平成19年度は、以下のような方針を踏まえ、補助対象事業の重点化を図りながら、競輪の活性化にも配慮しつつ、最大限の成果が得られるよう努めるものとする。

(事業の重点等)

平成19年度における公益事業振興補助事業は、体育、医療・公衆衛生、文教・環境等公益の増進（以下「公益の増進」という。）、社会福祉の増進に関する事業、非常災害の援護等に関する事業及び地域振興に関する事業の分野において実施するものとする。

その際、自転車施設の整備事業、自転車のスポーツの啓発普及又はイベントの振興のための事業、子どものための自転車競技大会の開催又は普及事業、生活習慣病（メタボリックシンドローム等）の一次予防としての肥満対策に係る事業、地域の文化・あそび等の体験学習による子どもの健全育成事業、犯罪等被害に関する相談又は相談員の育成、研修事業、更生保護に係る事業及び更生保護施設の整備事業、児童の事故防止及び犯罪被害の防止に関する調査研究又は啓発普及事業、地域公益バスの整備事業、公益の増進に係る事業で、競輪の理解増進にも資する事業、児童虐待防止に資する施設の整備事業、児童虐待の早期発見、早期対応に関する調査研究又は啓発普及事業、高齢者の健やかな地域生活のための施設の整備事業、高齢者の虐待の早期発見、早期対応及び高齢者の権利擁護に関する調査研究又は啓発普及事業、障害者の地域活動のための施設の整備事業、身体障害者補助犬の普及のための施設の整備事業、身体障害者補助犬の普及のための調査研究又は啓発普及事業、自殺の予防に関する調査研究又は啓発普及事業、社会福祉の増進に係る事業で、競輪の理解増進にも資する事業を積極的に採択するとともに、近時、競輪を取り巻く環境が厳しい状況にあることにかんがみ、これらの理解増進にも資する事業については、特に積極的に採択することとする。

(国等の事業との役割分担の明確化等)

補助事業は、競輪の売上金の一部を広く社会に還元することを目的とするものである。かかる観点から、本補助事業では、全国的な視野に立って、競輪の売上金の一部を財源とすることを明示しつつ、国等の事業を質的・量的に補完することを目的として、その支援が及びにくい分野・事業を中心に機動的かつきめ細かい支援を行ってきている。限られた財源を有効活用し、従来にも増して効果的かつ効率的な補助事業の実施に努める必要があること等から、平成19年度の補助要望案件については、上記のような国等の事業を質的・量的に補完するという本補助事業の位置付けを更に

徹底して、国等の事業との役割分担を明確にしつつ、厳正な審査を行うものとする。

なお、国又は地方公共団体が行う事業、国又は他の公営競技関係団体等の補助を受ける事業は、補助の対象としない。

補助事業計画

上記補助方針に基づき作成された平成19年度事業計画の概要は以下のとおりです。

《公益事業振興補助事業》

1. 補助対象事業別の補助概要（総括）

（単位：千円）

| 補助対象事業 | 件数 | 補助金限度額 |
|--------------|-----|-----------|
| (1) 公益の増進 | 145 | 6,363,292 |
| (2) 社会福祉の増進 | 324 | 2,700,928 |
| (3) 非常災害の援護等 | 予算 | 300,000 |
| (4) 地域振興 | 予算 | 150,000 |
| 合計 | 469 | 9,514,220 |

2. 補助対象事業別の概要

(1) 公益の増進

①重点事業

ア. 体育

(7) 自転車施設の整備事業

サイクルスポーツを中心とした体育施設を整備し、自転車競技の普及奨励を図る。

[562,588千円 (財) 日本サイクルスポーツセンター他1件]

(4) 自転車のスポーツの啓発普及又はイベントの振興のための事業

サイクリングを含めた国内の様々な自転車競技大会の開催、競輪を含めた自転車競技に関する広報等を通じて自転車の啓発普及を図る。

[1,089,265千円 (財) ツール・ド・北海道協会他11件]

(9) 子どものための自転車競技大会の開催又は普及事業

小中学生を対象とした自転車競技大会を開催し、自転車競技の普及促進を図る。

[18,776千円 (社) 大阪スポーツマンクラブ他3件]

イ. 医療・公衆衛生

生活習慣病（メタボリックシンドローム等）の一次予防としての肥満対策に係る事業

生活習慣病の予防に関するシンポジウム、セミナー等を開催し、肥満対策の啓発普及を

図る。

[49,316千円 (社) 日本健康倶楽部他5件]

ウ. 文教・環境

(7) 地域の文化・あそび等の体験学習による子どもの健全育成事業

世界遺産に認定された白神山地で、子どもが植林、苗床づくり、田植え等自然に触れ合う体験学習を実施し、子どもの健全育成を図る。

[12,850千円 (N) 白神自然学校一ツ森校他2件]

(イ) 引きこもりに関する相談又は相談員の育成、研修事業

引きこもりに関する相談、相談員の研修・育成のセミナーを開催し、相談員を育成し、具体的な問題の解決を図る。

[13,351千円 (N) 星槎教育研究所他2件]

(ウ) 犯罪等被害に関する相談又は相談員の育成、研修事業

犯罪被害者やその遺族等からの電話相談に対する各種ケアを実施し、被害者が苦痛を乗り越え自力回復できるよう心のケアを行う。また、相談員の研修を行い育成を図る。

[19,859千円 (社) 被害者支援都民センター他1件]

(エ) 更生保護に係る事業及び更生保護施設の整備事業

罪を犯した者の更生を助けることを目的として、犯罪を予防し、平穏な地域社会を実現するため、更生保護事業法に定める更生保護事業を推進するための諸事業に加え、犯罪被害者への対応についての講習会も実施する。また、更生保護施設を建築整備する。

[155,359千円 (更) 慈済会他2件]

(オ) 児童の事故防止及び犯罪被害の防止に関する調査研究又は啓発普及事業

チャイルドシートの正しい装着方法の普及のためのガイドライン発表・セミナー、ポスター一等を制作し、児童の事故防止を図る。

[13,486千円 (N) チャイルド・セーフティ他1件]

(カ) 地域公益バスの整備事業

路線バスが廃止され交通過疎地域となった稲敷市周辺で、交通弱者（高齢者・子ども）等を対象に会員制バスを運行する。

[4,858千円 (N) 稲敷みんなのまちづくり]

エ. 公益の増進に係る事業で、競輪の理解増進にも資する事業

(7) 競輪の本場、場外を使用して行う事業

和太鼓の演奏、薪能等の伝統芸能を非開催日の競輪場で実施、周辺住民を含め競輪に対する理解増進を図る。

[12,315千円 (N) ケイ・ジェイ・ケイ他1件]

(イ) 競輪の選手の協力を得て行う事業

サイクルレクリエーションイベントとして「ケイリン運動会」を開催し、競輪のもつスポーツ性や社会貢献について積極的にアピールするとともに、小中学生が中心に競輪選手の指導によるタイムトライアル等を行う。

[6,733 千円 (N) 市民自転車支援協会]

(ウ) 競輪の認知度を特に高める事業

競輪の認知度向上を目的とした広報・調査研究、自転車競技の近代化促進、また補助事業で建設した施設の補修、競輪場所在地域への補助を通して競輪に対する一般の人々の認知度の増進を図る。

[1,629,302 千円 (財) 日本自転車普及協会他 1 件]

②一般事業

ア. 体育

(7) 青少年、高齢者又は障害者を対象としたスポーツの振興のための事業

働きながら学ぶ勤労生徒の全国スポーツ大会、青少年柔道選手権大会の開催を通じて、青少年の健全育成を図る。

[32,067 千円 (財) 全国高等学校定時制通信制教育振興会他 3 件]

(イ) スポーツ大会（全国的な規模の大会に限る。）の開催事業

ペタンの世界ジュニアペタンク選手権の開催、歩くスキー競技の開催、ウォーキング大会、市民生涯スポーツ大会等に支援することにより、スポーツの振興を図る。

[71,081 千円 (N) 2007 年世界ジュニアペタンク選手権実行委員会他 6 件]

イ. 医療・公衆衛生

(7) 生活習慣病又は難病の基礎的研究に係る機器の整備事業

がん、難病等の基礎的研究機器を整備することによりその原因及び治療方法を確立することを目的とする。

[156,872 千円 (財) 日本心臓血圧研究振興会他 6 件]

(イ) 検診車及び母子保健指導車の整備事業

胃部X線テレビ検診車、胃胸部併用X線テレビ等検診車の整備を行い、がん、結核、生活習慣病等各種の早期発見を目的とする。また、母子保健事業における訪問活動・広報活動を実施することにより、地域住民の健康増進を図る。

[626,606 千円 (財) 日本対がん協会他 28 件]

ウ. 文教・環境

(7) 文化の振興のための事業

ピアニストの育成、漢字教育の推進、文化財の保護、伝統的工芸品産業の振興等様々

な形で文化の振興を図る。

[178,840 千円 (財) 日本ピアノ教育連盟他 11 件]

(イ) 青少年の健全育成に係る事業

将棋、囲碁、舞台芸術・交響楽等の鑑賞、また警察活動による殉職者・消化活動による死亡等の子弟に奨学金を支給をするなど、青少年の健全育成を図る。

[103,721 千円 (社) 日本将棋連盟他 8 件]

(ウ) 自然環境の保護に関する調査研究又は啓発普及事業

オニヒトデの大発生によるサンゴの食害防止策として、オニヒトデの家畜飼料の実用化に向けて調査研究用機器を整備し、自然環境の保護に関する普及啓発を図る。

[10,792 千円 (財) 沖縄県環境科学センター]

(エ) 自転車の安全かつ適正な利用の推進又は自転車駐車場の整備事業

駅周辺等における自転車駐車場の整備や海外への無償提供により、様々な地域で問題化している放置自転車の解消を図る。

[181,580 千円 (財) 自転車駐車場整備センター他 2 件]

(オ) 交通安全対策又はこれに関する啓発普及事業

自転車安全教室の開催、安全な乗り方等が記載された自転車手帳の交付等を通して交通安全の意識の普及啓発を図る。

[31,224 千円 (財) 全日本交通安全協会他 1 件]

エ. アからウ以外の事業で、公益の増進に特に資すると認められる事業

(ア) 体育

国民体育大会への支援、ユニバーシアード競技大会への選手団派遣、様々なスポーツを通じて体育の振興を図る。

[375,719 千円 (財) 日本体育協会他 2 件]

(イ) 医療・公衆衛生の向上

全国的医療機関並びに研究機関に対する機器整備、がん、並びに性感染症の予防に対する啓発普及等を通じて医療・公衆衛生の向上を図る。

[304,706 千円 (福) 恩賜財団済生会他 10 件]

(ウ) 文教、環境

映画祭、多重債務者に対する電話相談等、教諭師及び篤志面接委員の研修、消防対策の普及等様々な事業を通じて文教、環境の公益の増進を図る。

[702,026 千円 (財) 全国防犯協会連合会他 13 件]

(2) 社会福祉の増進

①重点事業

ア. 児童

(7) 児童虐待防止に資する施設の整備事業

様々な事情で、家族による養育が難しい子ども達が、豊かな人間性と社会性をもって自立できるように支援する児童養護施設等の整備を行う。

[164,246千円 (福) 鈴鹿聖十字会他4件]

(4) 児童虐待の早期発見、早期対応に関する調査研究又は啓発普及事業

障害児虐待の現状と予防及び早期発見を目的とした広報、研修等を行う。

[16,280千円 (N) CAPセンター・JAPAN他1件]

イ. 高齢者

(7) 高齢者の健やかな地域生活のための施設の整備事業

高齢者生き生きグループリビングの整備事業

一人暮らしで生活に不安や不便を抱える高齢者が、比較的低廉な料金で、地域でお互いの自主性を尊重した共同生活を営むことにより、生涯自己実現を図りつつ健やかに老いることを目的とする施設の整備を行う。

[609,382千円 (N) グループリビング葉山他5件]

(4) 高齢者虐待の早期発見、早期対応及び高齢者の権利擁護に関する調査研究又は啓発普及事業

高齢者虐待の早期発見、早期対応の確立を図るために、ケアマネージャーを対象としたマニュアル等を作成する。

[14,804千円 (N) 日本介護支援協会]

ウ. 障害者

(7) 障害者の地域活動のための施設の整備事業

障害者地域活動支援施設等の建築整備を行う。

[173,141千円 (福) 岡山市手をつなぐ育成会他3件]

(4) 身体障害者補助犬の普及のための施設の整備事業

身体障害者補助犬(聴導犬、介助犬)の訓練及び普及のための施設の整備を行う。

[68,739千円 (福) 日本聴導犬協会]

エ. その他

(7) 自殺の予防に関する調査研究又は啓発普及事業

自殺予防の啓発のために、いのちの電話相談員の資質向上を目的とした研修会の開催、
バリアフリー図書の作成等を行う。

[9,307千円 (福)いのちの電話他1件]

(4) 社会福祉の増進に係る事業で、競輪の理解増進にも資する事業、競輪の認知度を特に高
める事業

・競輪の認知度を特に高める事業

日頃、オーケストラ音楽に触れる機会の少ない障害者、高齢者の方々に音楽に親
しむ環境を提供し、併せて競輪事業の社会的役割についての理解促進を図るチャ
リティコンサート(ケイリン福祉コンサート)を行う。

[19,500千円 (財)日本交響楽振興財団]

②一般事業

ア. 児童

(7) 児童福祉施設の整備事業

児童厚生施設、児童自立訓練棟の整備を行う。

[66,432千円 (福)川谷福社会他1件]

(4) 児童福祉の増進に係る調査研究、研修又は相談等の事業

聾児のバイリンガル教育促進、発達障害児・者をトラブルから守るための教材の製作、
配布等の事業を行う。

[183,439千円 (N)バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター他9件]

イ. 高齢者

(7) 高齢者福祉の増進に係る調査研究、研修又は相談等の事業

芸能人による老人福祉施設巡回訪問、ねんりんピック茨城2007開催の広報活動等の事
業を行う。

[37,838千円 (社)虹の会他2件]

(4) 高齢者が自ら行う社会貢献に係る事業

高齢者による地域貢献活動等の事業を行う。

[2,834千円 (N)やちよ福祉の会]

ウ. 障害者

(7) 障害者のための施設の整備事業

障害者グループホーム、障害者作業棟・自立訓練棟施設の整備を行う。

[653,331千円 (福)渡良瀬会他21件]

(4) 障害者福祉の増進に係る調査研究、研修又は相談等の事業

全国レベルで実施する障害者福祉の向上を目的とした調査研究、研修又は相談等の諸事業を行う。

[68,267 千円 (福) 全国盲ろう者協会他 9 件]

エ. その他

(7) 施設の整備事業

生活保護法に基づく授産施設の整備を行う。

[5,188 千円 (福) 庚申福祉会]

(イ) 社会福祉の増進に係る調査研究、研修又は相談等の事業

全国レベルで実施する社会福祉の向上を目的とした調査研究、研修又は相談等の諸事業を行う。

[67,366 千円 (財) さわやか福祉財団他 4 件]

(ウ) 福祉車両整備事業

車イス対応型移送車両を中心に、回転リフトシート型車両等について福祉車両の整備を行う。

[394,800 千円 (福) 南幌福祉会他 224 件]

(イ) 機器の整備事業

身体障害者療護施設のリハビリ機器、障害者授産施設の授産機器、重症心身障害児施設の医療機器等の整備を行う。

[146,034 千円 (福) 北海道宏栄社他 22 件]

(3) 非常災害の援護等

非常災害の援護については、補助金総額 300,000 千円を予算額として計上し、平成 19 年度中に生ずる、非常災害に係る救援物資の配分及び被災地住民の福祉の向上を図るための臨時福祉施設の整備運営並びに災害に伴って生ずる臨時福祉活動事業のうち特別に必要と認められる事業に対し、予算の範囲内において随時補助することとする。

(4) 地域振興に資する事業

地域振興に資する事業については、補助金総額 150,000 千円を予算額として計上し、平成 19 年度中に行なわれる、まちづくり、まち興し等を目的とする公共性の極めて高いシンポジウム等のイベント又はスポーツ大会等の市民参加型の事業に対し補助することとする。また、競輪の理解増進に資する事業については、十分な配慮を行うものとする。

参 考

《補助事業の審査のプロセス》

1. 補助事業審査・評価委員会において、毎年6月及び7月頃に、次年度の補助方針について審議。
2. 日本自転車振興会において、毎年8月～9月に、補助方針に基づいて、官報、経済産業公報、本会会報、主要新聞、ホームページ等で公募し、10月以降において応募した団体からヒアリング等を実施。
3. 日本自転車振興会は、関係機関等との連絡・調整を経て、補助事業計画案作成。
4. 日本自転車振興会作成の補助事業計画案は、2月頃に、補助事業審査・評価委員会の意見聴取を経、経済産業大臣の認可を得て決定。

《「平成19年度補助事業計画一覧表」の閲覧について》

「平成19年度自転車等機械工業振興補助事業計画一覧表」及び「平成19年度公益事業振興補助事業計画一覧表」は、本会の下記事務所にそれぞれ備え付けておりますので閲覧することができます。

なお、上記一覧表は、本会ホームページ(<http://ringring.keirin.go.jp>)にも掲載されております。

1 総務部 総務課

住所：〒102-8011 東京都千代田区六番町4番地6

電話番号：03-3512-1251

FAX 番号：03-3512-1252

2 日本競輪学校 管理課

住所：〒410-2402 静岡県伊豆市修善寺町大野1827

電話番号：0558-79-0111

FAX 番号：0558-79-0232

《本件についてのお問い合わせ先》

日本自転車振興会 広報部 広報課

住 所 〒102-8011 東京都千代田区六番町4番地6

電話番号 03-3239-9422(直通)

FAX 番号 03-3512-1265

URL <http://ringring.keirin.go.jp>

○機械工業振興補助事業に関しては、

機械工業振興部

電話番号:03-3512-1273

FAX 番号:03-3512-1274

○公益事業振興補助事業に関しては、

公益事業部

電話番号:03-3512-1276

FAX 番号:03-3512-1277